

平成11年度第3回企画展

「新収蔵品展」

昨年から今年にかけて、町民の皆様から資料館にご寄贈いただいた民具や古文書等と、金原遺跡や中寺遺跡の発掘出土品を展示いたします。ぜひ、宮代の歴史を語る貴重な資料の数々をご覧ください。



徳利（とっくり）と
鉄瓶（てつびん）



中寺遺跡出土板碑



金原遺跡出土土器



車だんす

展示期間 平成11年6月15日(火)～8月15日(日)

宮代町郷土資料館

住所
交通

埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地
東武伊勢崎線東武動物公園駅・姫宮駅より
徒歩20分

開館時間

東北自動車道久喜インターより20分

休館日

午前9時30分～午後4時30分

入館料

月曜日 第2・第4火曜日 祝日

無料

開催にあたって

宮代町郷土資料館では、町民の皆様から平成5年の資料館開館当時から民具、古文書等についてご寄贈いただいております、それらの資料について大切に保管しております。

これらの資料は、郷土宮代の歴史や当時の生活の様子を知る上で非常に貴重なものであり、皆様にご覧いただくとともに、これらを永く後世の人々に伝えていかなければなりません。

今回は多くの歴史資料の中から、特に昨年から今年にかけて町民の皆様から寄贈された民具、古文書等や金原遺跡、中寺遺跡での新たな出土品を展示いたしました。この展示を通じて、皆様に郷土みやしろに対する愛着と理解を深める上でお役にたてれば幸いに存じます。

平成11年6月

宮代町郷土資料館

目次

開催にあたって……………	2
目次……………	3
寄贈資料について～民具・古文書……………	4
展示資料一覧～民具・古文書……………	5
展示資料の説明～民具・古文書……………	6
考古資料について～金原遺跡・中寺遺跡……	1 1
発掘調査の概要～金原遺跡……………	1 2
展示資料一覧～発掘出土品／金原遺跡……	1 3
展示資料の説明～発掘出土品／金原遺跡……	1 4
発掘調査の概要～中寺遺跡……………	1 7
展示資料一覧～発掘出土品／中寺遺跡……	1 8
展示資料の説明～発掘出土品／中寺遺跡……	1 9
出品協力者……………	2 1

寄贈資料について～民具・古文書

平成10年度、町民の皆様から寄贈されたものです。石臼・鞍等の農具、龍吐水・枕・車だんす・徳利などの生活用品をはじめ、書見台やガラス絵といった明治時代の教育資料などもあります。

このほか、江戸時代の和戸村明細帳は、当時の村の様子を知る手がかりとなる貴重な資料です。高札は、村人達を守るべき法を知らしめるためのものです。

これらは、いずれも、この地域で営まれていた人々の生活の様子・実態を知るうえで非常に貴重なものです。

展示資料一覧～民具・古文書（50音順）

石臼・石臼台	（伊草昭一氏寄贈）
高札	（岡安邦彦氏寄贈）
和戸村明細帳	（鈴木敏男氏寄贈）
龍吐水	（ " ）
鞍	（ " ）
韓文	（ " ）
枕	（関根英夫氏寄贈）
車だんす	（深井義治氏寄贈）
ガラス絵・ガラス写真	（矢部 豊氏寄贈）
書見台	（ " ）
かんざし	（ " ）
鉄瓶	（吉岡郁子氏寄贈）
徳利	（ " ）

展示資料の説明～民具・古文書

ガラス絵・ガラス写真（矢部 豊氏寄贈）

これは明治時代のものでガラス絵は物語などが描かれ、幻灯機（スライド）を用いて教育幻灯会（通俗教育・社会教育）で映写されていました。

また、ガラス写真（着色写真）は、おもに名所風景、社寺、風俗、肖像などがあり、大変高価なものですが、お土産用として売られていました。



ガラス絵・ガラス写真

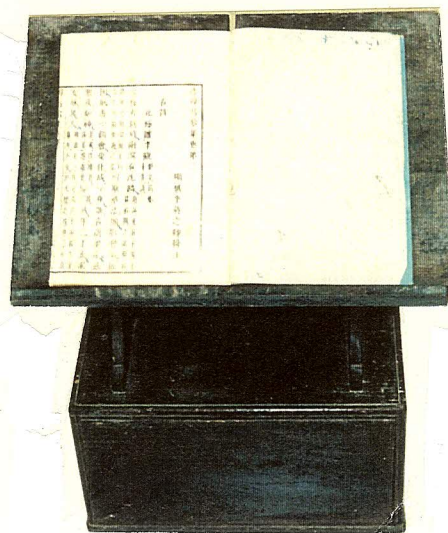
（左は日光東照宮、右は東京銀座）

しよけんだい

書見台（矢部 豊氏寄贈）

書見台は斜めに書物を置いて、読むのに便利にした台です。この書見台は西条原にあった寧儉義塾（ねいけんぎじゅく）で使われたものです。

この塾は、矢部造酒之丞が明治初年、朱子学派の儒者、和氣天造を招くなどして自宅に開き、明治6年学制発布とともに閉塾となりました。その弟子数十人と伝えられています。



書見台

和戸村明細帳（鈴木敏男氏寄贈）

明細帳は、村の人口や当時存在した寺院や神社、石高などが詳しく記載され、江戸時代の村の様子が分かる貴重な史料です。

今回発見された和戸村明細帳は寛政12（1800）年に作成されたものです。一般に、明細帳は願書などの添付書類として作成されました。



和戸村明細帳

こう さつ

高札（岡安邦彦氏寄贈）

法度（はっと）や掟書き（おきてがき）を板に墨で書き、街頭に掲示したものです。

高札の立てられている場所は高札場（こうさつば）と呼ばれ、交通の要所や名主宅前などに設置されました。

久米原村の高札は岡安さん宅から6枚発見されました。キリシタン禁制や鷹場（たかば）内での規定などが記されています。



高札

石臼・石臼台（伊草昭一氏寄贈）

石臼は米・麦・そば・大豆などを挽いて粉にするのに使いました。農家の毎日の生活でなくてはならない道具でした。石臼台には掃き出し口がついており、挽いた粉を集めやすいように工夫されています。



車だんす（深井義治氏寄贈）

貴重な衣類などが入ったタンスを持ち運びがしやすいように、また、いざという時などに持ち出せるよう車輪が付けられたものです。婚礼のとき、実家から運んで来たそうです。

車だんす

てつ びん

鉄瓶（吉岡郁子氏寄贈）

南部鉄瓶（岩手県）が有名です。鑄鉄（いもの）でできています。刀や斧（おの）のように砂鉄（さてつ）を原料にして作られました。火鉢（ひばち）などにのせてお湯を沸かしました。

とく リ

徳利（吉岡郁子氏寄贈）

昔、酒は酒屋さんで計り売りしていました。こうした徳利を持って、酒屋さんに酒を買いにいきました。



鉄瓶と徳利

枕（関根英夫氏寄贈）

枕の種類は非常に多く、括り（くびり）枕・箱枕・折りたたみ枕・香枕などがあります。また、素材も様々です。括り枕は布で側を作り、中に草、綿、そばがら、茶がらなどを入れて両端を括った枕で、この括り枕の小さいものを台形の木の上にのせたものが、今回展示している箱枕です。折りたたみ枕は主として旅行用に用いました。香枕は、髪の毛に香りをたきしめるため上が簀子（すのこ）状に穴のあいている木箱の中に香炉を入れた枕です。

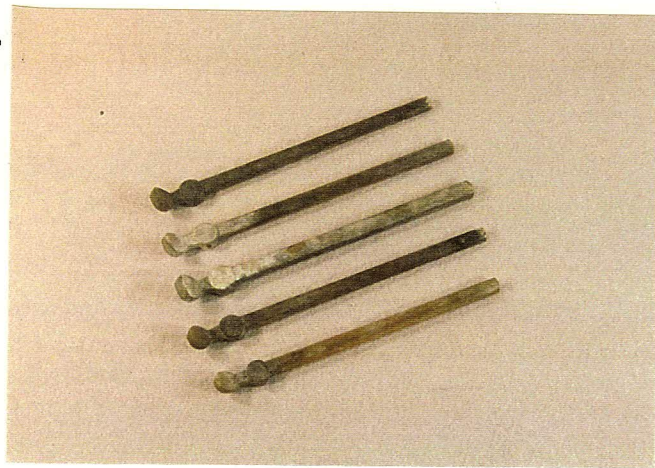


枕

かんざし（矢部 豊氏寄贈）

かんざしは櫛（くし）や笄（こうがい）とともに髪飾具の一つです。髪飾具の中でも髪に差して飾る装飾品として使われていました。金銀などの金属や木・漆（うるし）・鼈甲（べっこう）・サング・象牙・ガラスなど様々な材料を用いて作られました。

ここに展示されているかんざしは、ガラスで作られています。女性の身につける財産のように考えられるほど贅（ぜい）をつくしたものが喜ばれていました。



かんざし

くら

鞍（鈴木敏男氏寄贈）

鞍はいくつかの部品から構成されています。

これはその一部で、馬の背に乗せて騎座を安定させる鞍橋（くらぼね）です。鞍は基本的に馬の背中に乗るための道具で、形は同じですが、特徴として使用する目的によって様々な装飾が施されたりもしていました。この鞍にも細かな貝の装飾が施されています。

農機具などの発達した現在では、ほとんど見ることはできませんが、昔は田畑を耕したり、荷物を運ぶためにも牛や馬はなくてはならないもので、鞍は必需品でもありました。

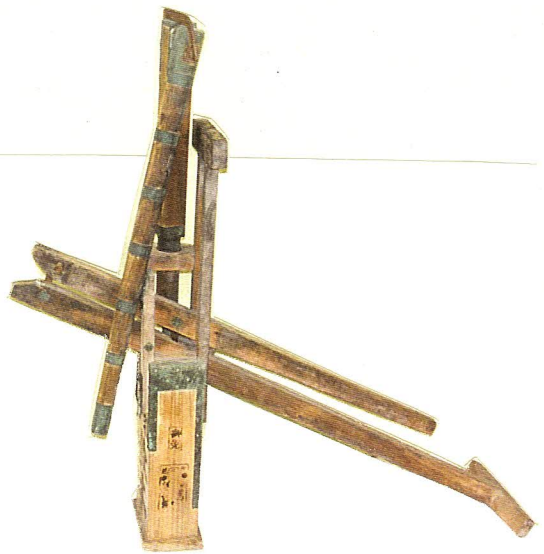


鞍

リゅう と すい

龍吐水（鈴木敏男氏寄贈）

昔、火事の時に使われたものです。水の出る量は少なかったのですが、持ち運びがしやすく出来ていました。



龍吐水

考古資料について～金原遺跡・中寺遺跡

町内では、縄文時代や古墳時代などの遺跡40カ所が確認されています。今回は、平成10年度発掘調査された金原遺跡、中寺遺跡の資料を展示しています。両遺跡からは、先土器時代から縄文時代、そして中世、近世にいたる様々な遺構、遺物が発掘されており、当時の人々の暮らしぶりの一端を知ることが出来ます。

ことに、金原遺跡では今から3,500年程前の縄文時代後期の集落（ムラ）が、中寺遺跡では室町時代末期から戦国時代の遺構や遺物が発掘され、宮代町の当時の歴史を紐解く上で貴重な資料が発見されております。

金原遺跡発掘調査の概要

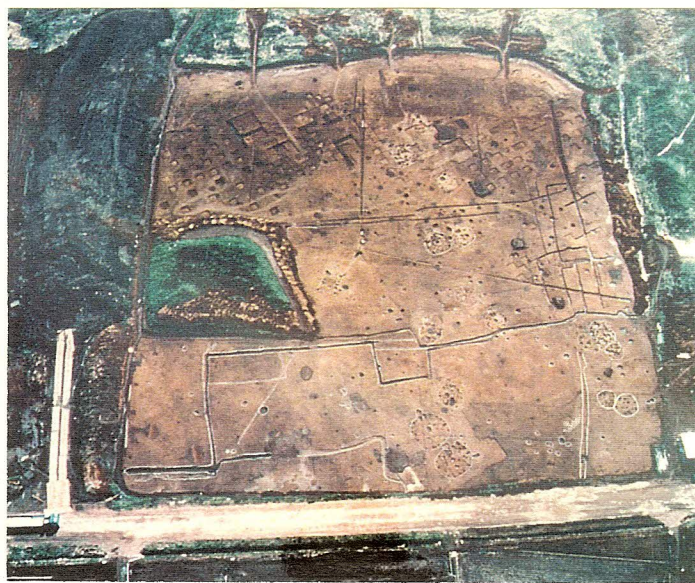
金原遺跡は平成8年10月から平成11年4月にかけて発掘調査が行われ、先土器時代（14,000年前）から縄文時代後期（3,500年前）にかけての住居跡や貯蔵穴、屋外炉、掘立柱建物跡などが多数発掘されました。

特に先土器時代と縄文時代後期には広範囲に集落（ムラ）が営まれていたことが発見されました。縄文時代後期には西側の谷を囲むように住居跡が点在し、その付近に貯蔵穴などが配置されていました。ムラの中心的建物である掘立柱建物跡は住居跡群の中央やや奥に立地しています。

ここでは、主に縄文時代後期（3,500年前）の土器や石器を中心に発掘出土品のごく一部を展示しています。なお、先土器時代の遺物は7月17日から8月22日にかけて埼玉県立博物館「さいたまの最新出土品展99」で展示しています。

展示資料一覽(発掘出土品・金原遺跡)

- 土器 1号埋設土器
 2号埋設土器
 3号埋設土器
 8号土坑出土土器
 1号埋設土器
 2号埋設土器
 3号埋設土器
 8号住居跡埋設土器
 17号住居跡出土土器
 226号土坑出土土器
- 土製品等 7号住居出土指輪形土製品
 21号住居跡出土土製品
 2号住居出土蓋
 2号住居出土耳飾り
 矢じり



金原遺跡全景

展示資料の説明～発掘出土品／金原遺跡

指輪形土製品（金原遺跡7号住居跡出土）

直径約1cmの指輪形の土製品で、何に使われたのか明らかではありませんが、装飾品として使われたのかもしれませんが。金原遺跡7号住居の炉跡（ろあと）の近くから発見されました。



指輪形土製品

ふた

蓋（金原遺跡2号住居跡出土）

おそらく煮炊きをするときに土器の蓋として使われたと考えられます。



蓋

耳飾り（金原遺跡2号住居跡出土）

耳たぶに穴を開けて付けた現代でいうイヤリングです。逆井遺跡でも、出土しました。



耳飾り

矢じり

遠く離れた所にいる動物を射止めるために弓矢が用いられていましたが、その矢の先端に付けていた道具が矢じりです。遺跡からは数多く発見される道具のひとつで、金原遺跡でもさまざまな形をした矢じりが発見されています。ほとんどが黒曜石やチャートという石を加工して作られています。



矢じり

土製装飾品（亀の子状土製品）

この土製装飾品は、上から下にかけて穴が貫通しており、器面には非常に緻密なデザインが施されています。何に使ったものか、明らかではありません。



土製装飾品（亀の子状土製品）

中寺遺跡発掘調査の概要

中寺遺跡は平成11年の1月から2月にかけて発掘調査が行われました。発掘調査の結果、室町時代から江戸時代にかけての建物の跡や井戸跡、陶磁器、板石塔婆などが発掘されました。室町時代から戦国時代の遺構や遺物が発掘調査で出土したのは、宮代町では地藏院遺跡について2例目です。

中寺遺跡の周囲は室町時代から江戸時代にかけての西光院の寺域であったことや、北条早雲の子孫である小田原北条氏や、太田道灌の子孫にあたる岩付城主の岩付太田氏に仕えた鈴木雅楽助の屋敷地に隣接することから、発掘地点は戦国時代の館の一部であった可能性が高いものと考えられます。調査では、文字に残ることが少ない室町時代から戦国時代の宮代町を明らかにする手掛かりとなる調査であったといえます。今回は、出土した陶磁器などの一部を展示しました。

展示資料一覽（発掘出土品・中寺遺跡）

内耳鍋（地藏院遺跡出土）室町時代（15世紀）

内耳鍋（中寺遺跡出土）戦国時代（16世紀）

焙烙（中寺遺跡出土）戦国時代（16世紀末葉）

青磁（中国龍泉窯）戦国時代（16世紀初頭）

天目茶碗戦国時代（16世紀初頭）

端反皿戦国時代（15世紀末葉）

摺鉢（在地産）戦国時代（16世紀）

摺鉢（瀬戸美濃窯）戦国時代（16世紀）

灰釉丸皿（瀬戸美濃窯）戦国時代（16世紀）

天目茶碗（瀬戸美濃窯）戦国時代（16世紀後半）

天目茶碗（瀬戸美濃窯）戦国時代（16世紀前半）

カワラケ（在地産）戦国時代（16世紀）

カワラケ（在地産）戦国時代（17世紀）

摺鉢（静岡志戸呂窯）戦国時代（16世紀後半）



中寺遺跡発掘調査風景

展示資料の説明～発掘出土品／中寺遺跡

ないじ なべ ほうろく

内耳鍋と焙烙

内耳鍋や焙烙はかまどに吊るして使用するため、内側に釣り手状の耳（3カ所）がついています。時代によって形が変化しますが、地藏院遺跡出土の内耳鍋は器高が高いのが特徴で、室町時代（15世紀）のものです。中寺遺跡出土の内耳鍋は器高が浅くなり、焙烙形態に近づく戦国時代（16世紀）のものです。中寺遺跡出土の焙烙は戦国時代末期から江戸時代初頭のもものと推定されます。



内耳鍋

陶磁器

中寺遺跡からは、たくさんの陶磁器の破片が出土しています。戦国時代の瀬戸美濃焼の小皿や摺鉢、天目茶碗、常滑焼の甕（かめ）静岡県志戸呂焼の摺鉢など国内各地の各種のものがあります。こうした日本国内の陶磁器だけでなく、遠くは中国浙江省（せっこうしょう）の龍泉窯の青磁など貴重な輸入品も使用されていました。



陶磁器

（灰釉丸皿）

古銭

中寺遺跡からは中国の北宋（960～1127）の貨幣である「元祐通宝」が1点出土しました。宮代町で中国の古銭が発掘調査で出土するのは非常にまれです。

また、江戸時代の貨幣である「寛永通宝」も出土しました。



古銭

板石塔婆

この板石塔婆は小型で、その形態などから室町時代後期のものと推定されます。板石塔婆は、一般的には追善供養や生前供養のため建てられたものです。

中寺遺跡の板石塔婆は、井戸の中から投げ込まれたような状態で発見されました。



板石塔婆

出品協力者

(敬称略・50音順)

伊草昭一 岡安邦彦 鈴木敏男 関根英夫 深井義治

矢部 豊 吉岡郁子

平成11年度第3回企画展

「新収蔵品展」展示解説

平成11年6月15日～8月15日

発行年月日 平成11年6月15日

編集発行 宮代町郷土資料館

〒345 0817

埼玉県宮代町字西原289番地

☎0480 34 8882

宮代町インターネットホームページアドレス

<http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro>